



区民による身近な生物調査ロゴマーク

# みんなで探して 発見! 身近な自然



いつもいきもの情報をありがとうございます。いただいた情報は、貴重な記録として集約いたしております。紙面の都合上全部をご紹介できないことをお許しください。みなさんが発見したいいきものや自然情報をご紹介します!みなさんはどんな発見をしましたか?ふりかえてみましょう!

紙面をリニューアルしました!!



近年、都市部でもよく見られます。これは、食べ物となる小鳥類が多く、天敵が少ないこと、ビルや橋などがねぐらや繁殖場になり、暮らしやすいからとされています。

主に小型の鳥類を食べる肉食性のツミ。都市部の緑化などにより、都会でも見られるようになりました。



## ツミ (タカ科)

4月3日 17時頃、梅の木に捕食している小型猛禽類を見つけました。(中目黒5丁目通信員)

## チョウゲンボウ (ハヤブサ科)

3月20日 ビルのベランダにメスのチョウゲンボウがいるのを発見。(自然通信員)

## 2018 みんなの発見

今年は5月25日までに237件の情報が寄せられました。もっとも多かったのは鳥類で、39種145件でした。

羽のあざやかなり色の模様が特徴。花ではなく、雑木林の樹液や動物のフンなどにやってきて水分を吸います。



## ルリタテハ (タテハチョウ科)

4月12日 庭で羽化したばかりで、うまく飛べない様子でした。(中町1丁目通信員)

2月下旬から3月末の産卵の時期と4月末からの目撃情報が多数ありました。日本には、東日本にアズマヒキガエル、西日本にニホンヒキガエルの2つの亜種系統が生息していましたが、近年交雑が進み、見分けることが難しくなっています。

夜行性で、夜は明かりに寄ってきた虫を求めて家の周りなどにやってきます。



## ヤモリ (ヤモリ科)

3月4日 もうヤモリが活動開始で驚きです。(五本木1丁目通信員)

春から秋にかけては、夜行性なので、夜になると食べ物を求めて出てきます。



## ヒキガエル (ヒキガエル科)

3月1日 今年初めて鳴き声を確認。(洗足2丁目通信員)

日本で繁殖する最大のサギです。水辺で魚類や昆虫などの食べ物をさがして食べているため、水辺のある公園や船入場で目撃されていました。



## アオサギ (サギ科)

1月7日 公園にて15:00頃に目撃。(自然通信員)

鳥にとって日光浴は体温調節、皮ふや骨の健康を保つのに役立つとされています。



## キジバト (ハト科)

3月 キジバトはいつも来て、水浴びも大好きです。(東が丘1丁目通信員)